

平成23年9月29日

大学院医歯薬保健学研究科の設置について

広島大学は、平成24年4月、大学院医歯薬学総合研究科と大学院保健学研究科を改組・再編し、新たに「大学院医歯薬保健学研究科」を設置いたします。

大学院医歯薬保健学研究科の設置の目的、概要および養成する人材像は、以下のとおりです。

I. 設置の目的

別紙資料1「大学院医歯薬保健学研究科の設置目的」参照

急速な少子・高齢化により、2005年には、日本人の5人に1人が65歳以上、2035年には5人に1人が75歳以上という「超高齢社会」が到来すると予測されています。社会的要請としては、がん、痴呆、老化などの高齢者に多い疾病の克服があり、先端的生命医科学の進歩に基づいた高度で先進的な医療の開発と新しい視点での健康の維持・増進の方策が求められています。

現代の医療では、各分野の専門スタッフたちが患者の病状に応じてチームを組み、連携して治療に当たるチーム医療の実践が広がっているため、より高度なチーム医療を担うことができる医療人（医師、歯科医師、臨床薬剤師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士など）の養成が急務とされています。

広島大学霞キャンパスは、全国でも有数の医療キャンパスであり、学士課程から大学院課程まで一貫性を持って教育を提供できる環境が整っています。これらの分野で養成される高度専門医療人はチーム医療の基盤として、他職種との関係を深化させていく責務があり、医療系の分野が一体となって教育・研究を進めていくことが重要です。

霞キャンパスが有している人的資源や機能を最大限に活用した新たな組織として、医歯薬学総合研究科と保健学研究科を統合し、医療系の4分野で構成される研究科を設置することで、①旧来の学問分野の枠組みを超えた新しい領域や複合領域で活躍できる人材養成②学術の高度化・複合化に対応できる研究活動の活性化③新しい知の創造を目指した大規模プロジェクト研究を推進できる組織作りなど、従来の2研究科では不可能であった、より柔軟な教育・研究体制を構築します。

II. 概要

別紙資料2「医歯薬学総合研究科と保健学研究科の改組・再編の概要」参照

III. 養成する人材像

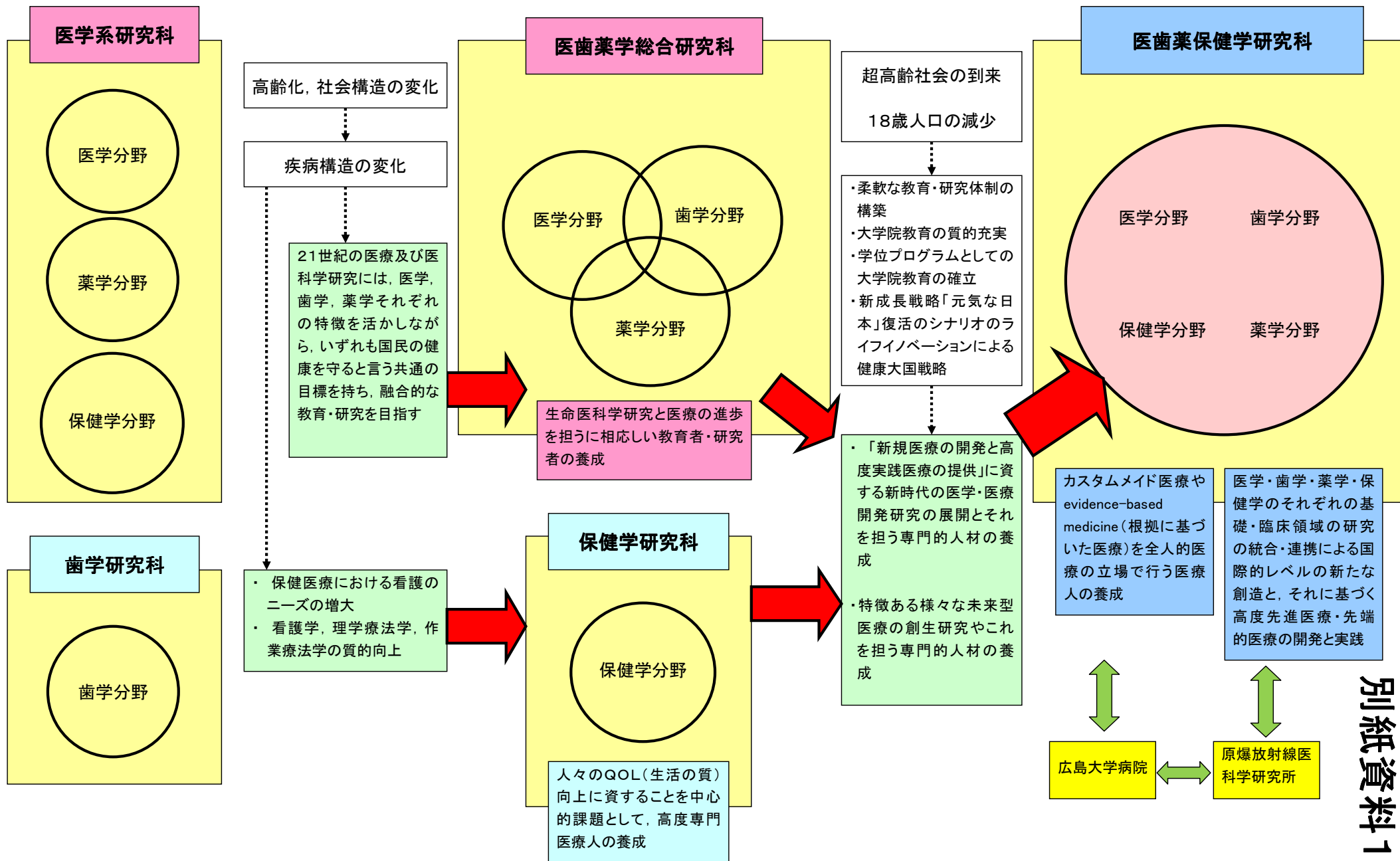
別紙資料3「医歯薬保健学研究科で養成する人材像」参照

なお、この設置は、平成24年度予算成立後に正式に決定するものです。

【お問い合わせ先】

広島大学医歯薬学総合研究科等支援室 運営支援グループ 総括主査 岡 正 人 TEL：082-257-5602 FAX：082-257-5615

医歯薬保健学研究科の設置目的



医歯薬学総合研究科と保健学研究科の改組・再編の概要

改組・再編前

改組・再編後

医歯薬学総合研究科

D 創生医科学専攻 (入学定員 57人) 学位: 博士(医学), 博士(歯学), 博士(学術), 博士(医薬学)	
D 展開医科学専攻 (入学定員 46人) 学位: 博士(医学), 博士(歯学), 博士(学術), 博士(医薬学)	
M 口腔健康科学専攻 クリニカルコース リサーチコース (入学定員 12人) 学位: 修士(口腔健康科学)	D 口腔健康科学専攻 (入学定員 4人) 学位: 博士(口腔健康科学)
M 薬科学専攻 (入学定員 20人) 学位: 修士(薬科学)	D 薬学専攻 (入学定員 12人) 学位: 博士(薬学)
M 医歯科学専攻 (入学定員 20人) 学位: 修士(医科学), 修士(歯科学), 修士(学術)	

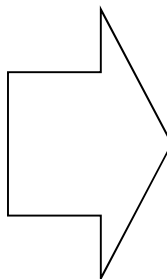
保健学研究科

M 保健学専攻 (入学定員 34人) 学位: 修士(看護学), 修士(保健学)	D 保健学専攻 (入学定員 17人) 学位: 博士(看護学), 博士(保健学)
--	--

医歯薬保健学研究科

※各プログラムにおける人数は、受入れ枠を示したもの。

D 医歯薬学専攻 ※ (入学定員 97人) 学位: 博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術)	
医学専門プログラム (60人) 歯学専門プログラム (27人) 薬学専門プログラム (3人) 放射線医科学専門プログラム (7人)	
M 口腔健康科学専攻 クリニカルコース リサーチコース (入学定員 12人) 学位: 修士(口腔健康科学)	D 口腔健康科学専攻 (入学定員 4人) 学位: 博士(口腔健康科学)
M 薬科学専攻 (入学定員 18人) 学位: 修士(薬科学)	D 薬科学専攻 (入学定員 3人) 学位: 博士(薬科学)
M 保健学専攻 (入学定員 34人) 学位: 修士(看護学), 修士(保健学)	D 保健学専攻 (入学定員 15人) 学位: 博士(看護学), 博士(保健学)
M 医歯科学専攻 医歯科学コース 医学物理士コース (入学定員 12人) 学位: 修士(医科学), 修士(歯科学), 修士(学術)	



教育組織

教員組織

医歯薬保健学研究院

医歯薬保健学研究科で養成する人材像

専攻等		教育・研究上の目的	
医歯薬学専攻	博士課程 (D)	医学専門プログラム	医学における幅広い学識と高度な研究能力を有し、学際的・国際的に活躍できる教育者・研究者及び時代の要求に応え、先進的医療技術の開発・応用を担うことができる高度専門医療人を養成すること
		歯学専門プログラム	歯科医学分野における研究を統合・発展させ、より高度な先進的歯学基礎研究を遂行するとともに、これに基づく応用研究によって高度先進歯科医療を開発し、これを地域社会から国際社会まで広く展開できる人材を養成すること
		薬学専門プログラム	薬学に関する深い学識及び高い見識を有し、薬学の教育・研究を通じて、我が国の医療薬学及び薬物療法の発展に貢献できる人材、医療を中心とした薬学研究領域で国際的に活躍できる人材を養成すること
		放射線医科学専門プログラム	放射線の人体影響に関する基礎的研究から臨床放射線医学までの先進的、かつ体系的な教育・研究を実施し、これを地域社会から国際社会まで広く展開できる人材を養成すること
口腔健康科学専攻	博士課程前期 (M) クリニカルコース リサーチコース	①口腔保健の高度専門医療人を養成すること ②口腔健康科学の確立及び普及を担う教育者・研究者となる人材を養成すること ③口腔工学の確立及び普及を担う教育者・研究者となる人材を養成すること	
	博士課程後期 (D)	口腔健康科学分野の教育・研究をリードし、口腔健康科学分野の拠点となるべく教育・研究を展開し、国際的に貢献できる人材養成を行うとともに、国民の健康の維持増進を目的とし、口腔から全身の健康を維持増進するための口腔健康科学の学術分野を構築すべく、その教育者及び大学・企業における研究者を養成すること	
薬科学専攻	博士課程前期 (M)	創薬研究者及び生命科学研究者として幅広い分野で活躍できる人材、薬科学の発展と普及を担う教育者・研究者並びに薬科学分野で国際的に活躍できる人材を養成すること	
	博士課程後期 (D)	薬学に関する深い学識及び高い見識を有し、薬学の教育・研究を通じて、我が国の創薬科学及び生命科学の発展に貢献できる人材、国際的視点に立って創薬科学及び生命科学を基盤とした応用研究を展開できる人材を養成すること	
保健学専攻	博士課程前期 (M)	①保健学に関する豊かで幅広い学識と高度な研究能力を持つ研究者を養成すること ②複雑化した健康問題を抱える総体としての「人」の反応を明らかにし、身体的・心理的・社会的な総合支援の効果的な方法論を開発する能力のある研究者を養成すること ③問題解決能力を涵養し、独創性、未来志向性を引き出すことができる教育者を養成すること ④生命・医療倫理の深い知識とこれに根ざした先進的な保健・医療・福祉開発研究を遂行できる人材を養成すること ⑤先進的な保健・医療・福祉に関する情報発信と共有化の担い手となり、国際的にも活躍できる人材を養成すること	
	博士課程後期 (D)	①看護学の新しい理論と実践方法を自立して研究・開発できる看護学教育・研究者を養成すること ②理学療法学及び作業療法学分野において高度な専門知識を持ち、優れた研究能力を持った教育者及び学問体系確立のための研究開発者を養成すること ③保健医療福祉分野における新しい専門研究を推進できる高い研究能力及び国際的視野を有する教育者・研究者を養成すること	
医歯科学専攻	修士課程 (M)	医歯科学コース	教育・研究機関において医学・歯学の学際領域における基礎的・応用的研究の推進に貢献しうる人材及びバイオテクノロジー、医療、製薬等に関する企業等において研究開発又は医療関係業務に関わる人材を養成すること
		医学物理士コース	医学物理学分野の高度専門職業人として活躍できる人材、医学物理学の確立と普及を担う教育者・研究者並びに医学物理学分野で国際的に活躍できる人材を養成すること